

## 空手道部

神戸市高等学校秋季空手道大会が、9月23日(日)に県立文化体育館で開催されました。

男子個人形では、2年東畑憲典(伊丹市立北中)が優勝し、2位に2年近藤啓太(高砂市立荒井中)が入賞しました。

続く男子団体形においても見事優勝を飾りました。

準決勝戦では、東灘に5対0、決勝戦でも兵庫工業に5対0で完勝しました。

【登録選手】東畑憲典、近藤啓太、平井孝法(神戸市立玉津中2年)、田上悠馬(姫路市立大白書中1年)

男子団体組手では、準決勝戦で神戸第一に1対4で敗れ、惜しくも3位となりました。



顧問が、空手道競技の成年

第73回国民体育大会「福井しあわせ元気国体」が開催されました。

## 国民体育大会

【登録選手】2年東畑憲典、近藤啓太、平井孝法、中村響生(神戸市立御影中)、平松竜羽(同神戸生田中)、1年田淵裕也(同長田中)、為本志(山梨学院中)、久後憲汰(西宮市立塩瀬中)

しかし、敗れた4人中3人は、僅差での敗戦でしたので、次回の対戦に期待がもてます。

男子組手個人戦軽量級に出場しました。

3回戦ではオリンピック候補選手を破り、5回戦の準決勝まで駒を進めました。地元福井県の選手に0対1で敗れてしまいました。

続く3位決定戦では、2対2の同点となったのですが、同点の場合は先取点を挙げた方を勝ちとするルールによって敗れ、4位となりました。

次は、レスリング競技です。

少年男子グレコローマスタイル80kg級で、本校の3年樋口徹心(神戸市立烏帽子中)が、3位に入賞しました。

1回戦は、大分県の選手にフォール勝ちし、2回戦は千葉県に6対2で勝利しました。準々決勝でも長野県の選手にテクニカルフォール勝ちをしましたが、準決勝で東京都の選手に敗れてしまいました。



(左端が樋口選手)

最後は、柔道競技です。本校の3年顕徳大晴(明石市立望海中)が、少年男子団体の先鋒で出場しました。

兵庫県は2回戦より登場し、大分県と対戦し3対1、3回戦は愛知県に3対1で勝利し、準決勝戦は東京都と2対2の同点でしたが、内容差で敗れてしまいました。

3位決定戦が行われ、近畿ブロック大会優勝県の奈良県と対戦しました。今回は、2対2の内容勝ちを収めました。

顕徳は、準決勝戦の東京都と引き分けただけで、残りの3試合全てを1本勝ちし、兵庫県の3位に大きく貢献しました。

**ちょっと一言** 神戸牛といえば、神戸で飼育された牛の肉と思うが、そうではない。兵庫県内で飼育されている但馬牛の中でも特に品質が高く、県内で食肉処理をして出荷されたものだけを指し、神戸牛という品種の牛がいるわけではない。但馬牛の歴史は古く797年に完成した「続日本紀」にも、「耕運に適し、食用にも適す」と書かれているようだ。日本では幕末まで肉食が公的には禁止されていた。肉食文化を日本に持ち込んだのは移住してきた外国人である。その後、日本では肉食、特に牛肉食が流行し、肉鍋専門店が生まれた。元町にあった店では、農具の鋤(すき)を鍋の代わりにして提供した。これがすき焼きの起源とされている。